

第1 犯罪の概況

1 刑法犯

(1) 発生(認知)状況

ア 概況

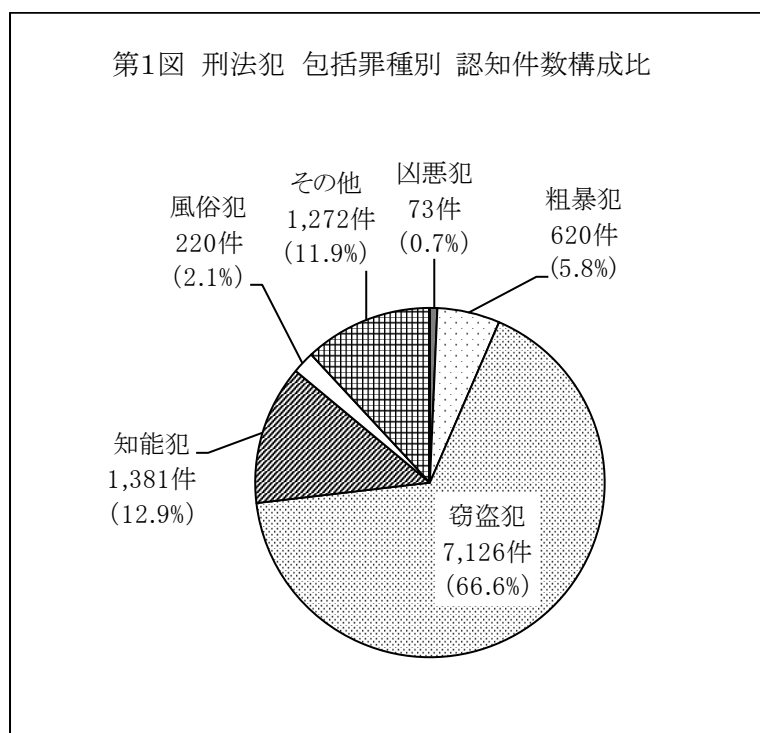
令和7年中の刑法犯認知件数は、第1表のとおり10,692件で、前年に比べ、241件(2.2%)減少した。

包括罪種別にみると、凶悪犯、知能犯、風俗犯において件数が増加したが、他の罪種は減少した。

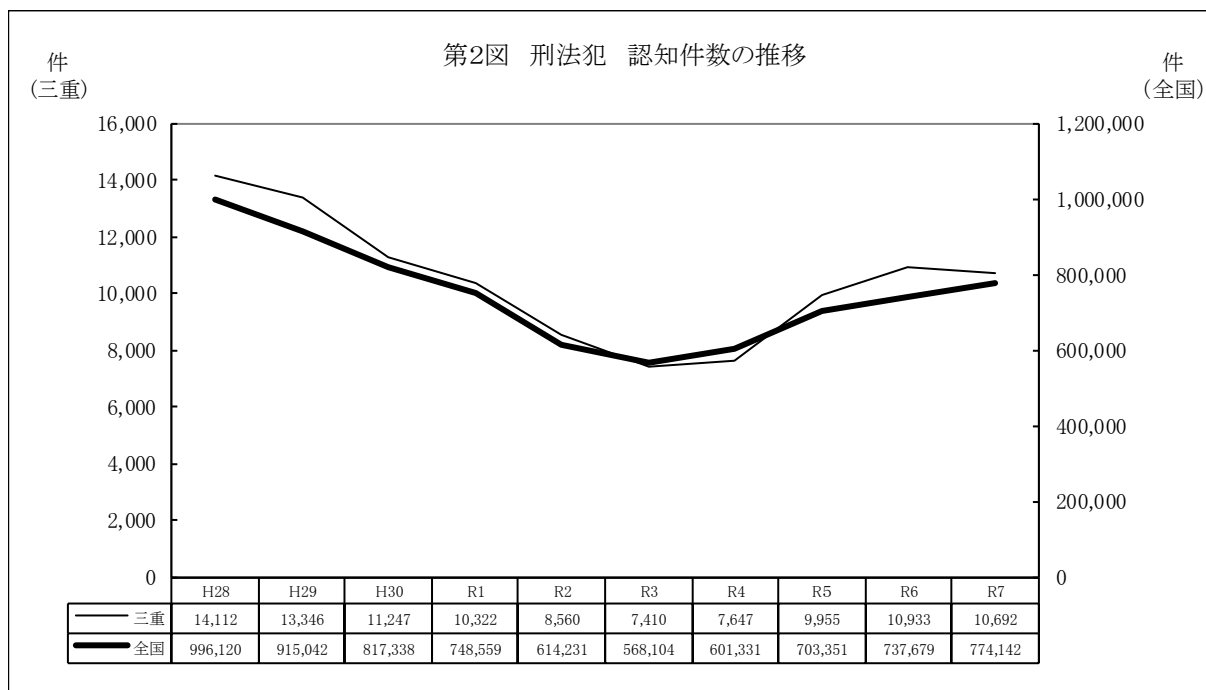
第1表 刑法犯認知件数増減比較

包 括 罪 種	令和7年		令和6年		増 減	
	件 数	構成比	件 数	構成比	件 数	率
総 数	10,692	100.0	10,933	100.0	-241	-2.2
凶 悪 犯	73	0.7	63	0.6	10	15.9
粗 暴 犯	620	5.8	744	6.8	-124	-16.7
窃 盗 犯	7,126	66.6	7,293	66.7	-167	-2.3
知 能 犯	1,381	12.9	1,227	11.2	154	12.6
風 俗 犯	220	2.1	181	1.7	39	21.5
そ の 他	1,272	11.9	1,425	13.0	-153	-10.7

(イ) 刑法犯認知件数の包括罪種別構成比をみると、第1図のとおり、窃盗犯が約7割を占めている。



(イ) 全国及び三重県における刑法犯認知件数の推移をみると、第2図のとおり、平成28年以降、全国、三重ともに年々減少し、令和3年が最も少ない件数になっている。



イ 罪種別発生(認知)状況

(ア) 重要犯罪

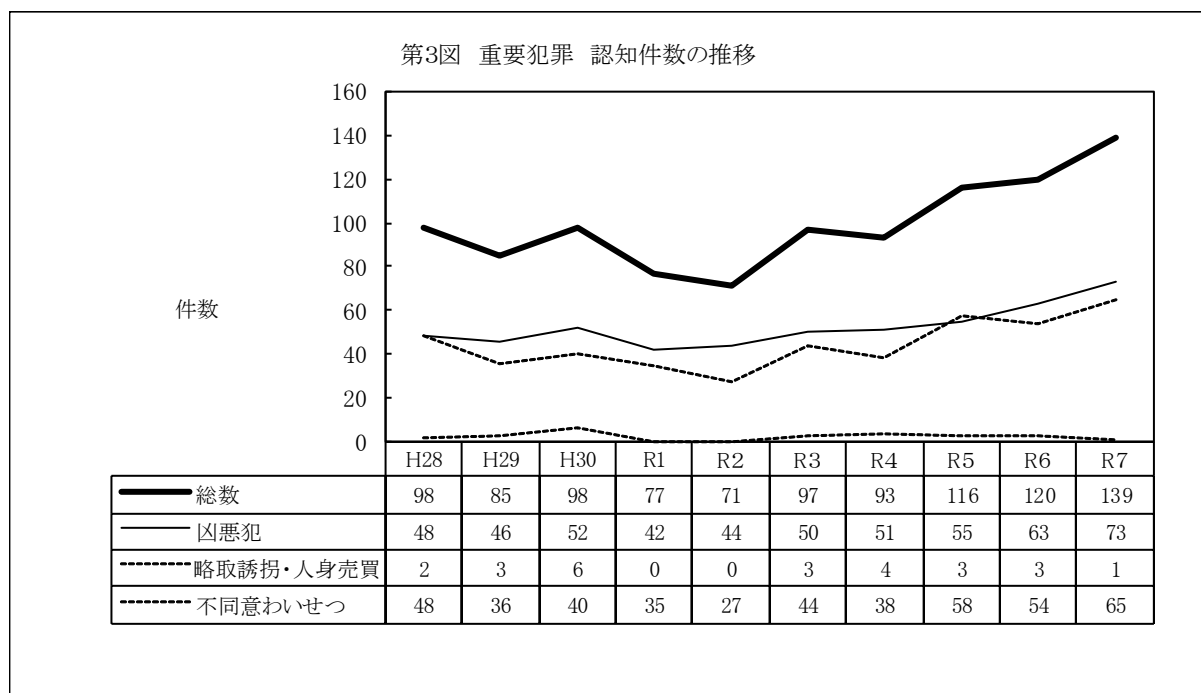
令和7年中の重要犯罪の認知件数は、第2表のとおり139件で、前年に比べ、19件(15.8%)増加した。

罪種別にみると、放火、不同意性交等、不同意わいせつが増加したが、他の罪種は減少又は増減なしであった。

第2表 重要犯罪認知件数増減比較

区 分	令和7年	令和6年	増 減	
			件 数	率
総 数	139	120	19	15.8
殺 人	10	10	±0	±0.0
強 盗	7	10	-3	-30.0
放 火	9	2	7	350.0
不 同 意 性 交 等	47	41	6	14.6
略取誘拐・人身売買	1	3	-2	-66.7
不 同 意 わ い せ つ	65	54	11	20.4

過去10年間の認知件数の推移をみると、第3図のとおり、平成28年以降、増加と減少を繰り返していたが、令和5年以降は増加している。



(イ) 重要窃盗犯

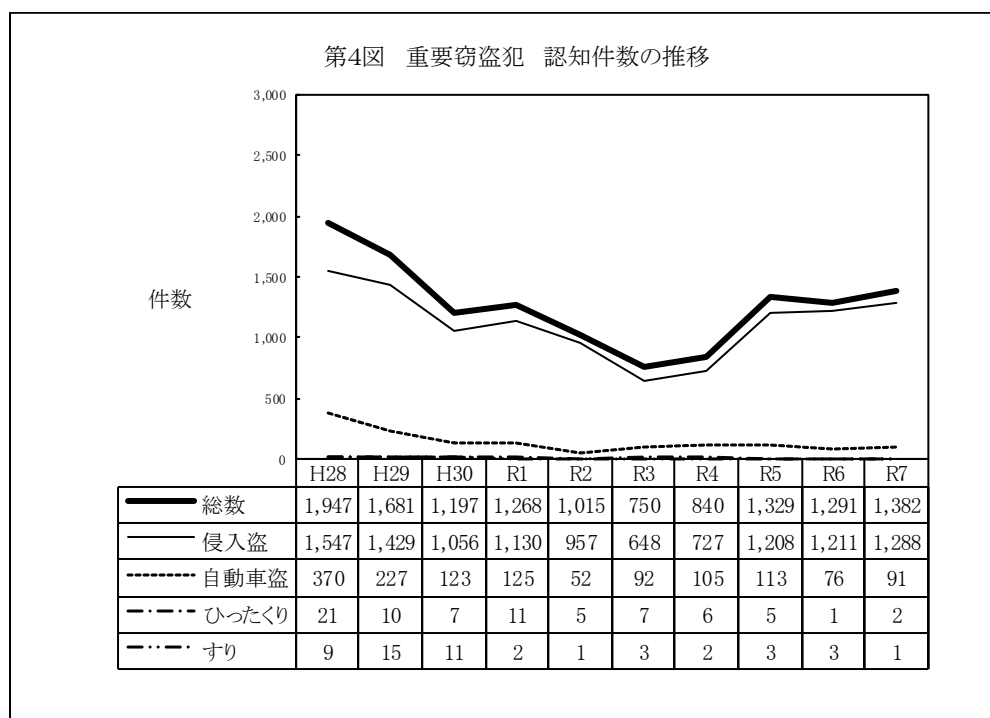
令和7年中の重要窃盗犯の認知件数は、第3表のとおり1,382件で、前年に比べ、91件(7.0%)増加した。

手口別にみると、侵入盗、自動車盗が増加した。

第3表 重要窃盗犯認知件数増減比較

区 分	令和7年	令和6年	増 減	
			件 数	率
総 数	1,382	1,291	91	7.0
侵 入 盗	1,288	1,211	77	6.4
住 宅 対 象	353	354	-1	-0.3
そ の 他	935	857	78	9.1
自 動 車 盗	91	76	15	19.7
ひ っ た く り	2	1	1	100.0
す り	1	3	-2	-66.7

過去10年間の認知件数の推移をみると、第4図のとおり、平成28年以降は減少し、令和3年が最も少ない件数になっている。



(ウ) 凶悪犯

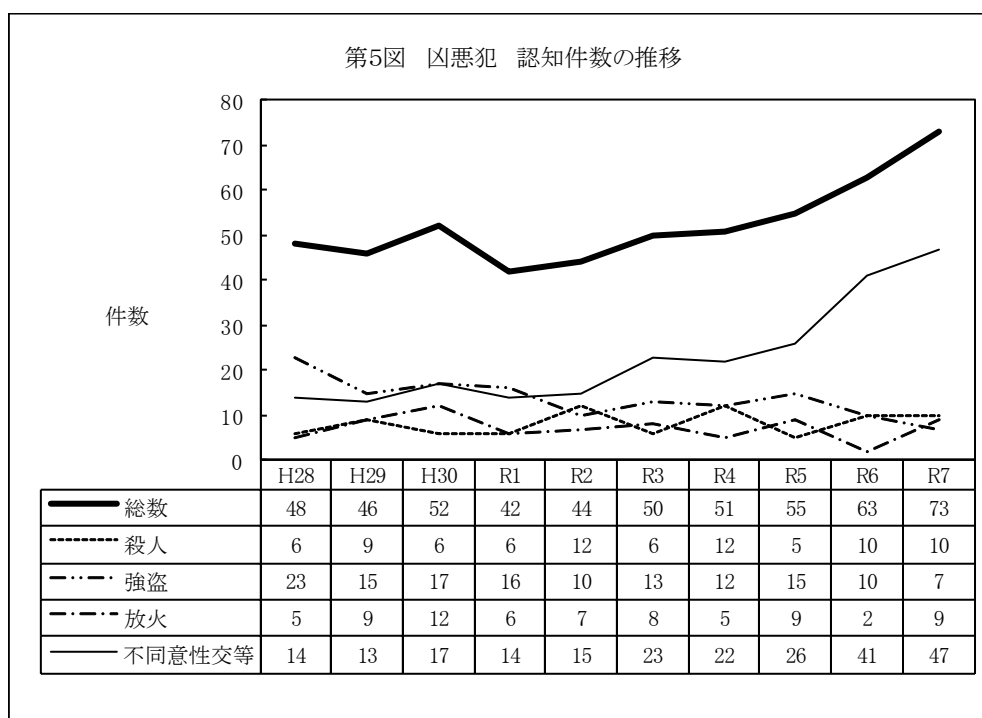
令和7年中の凶悪犯認知件数は、第4表のとおり73件で、前年に比べ、10件(15.9%)増加した。

罪種別にみると、放火、不同意性交等は増加し、強盗は減少した。

第4表 凶悪犯認知件数増減比較

罪 種	令和7年		令和6年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	73	100.0	63	100.0	10	15.9
殺 人	10	13.7	10	15.9	±0	±0.0
強 盗	7	9.6	10	15.9	-3	-30.0
放 火	9	12.3	2	3.2	7	350.0
不 同 意 性 交 等	47	64.4	41	65.1	6	14.6

過去10年間の認知件数の推移をみると、第5図のとおり、令和元年に過去10年で最少の件数となったが、令和2年以降は増加している。



(エ) 粗暴犯

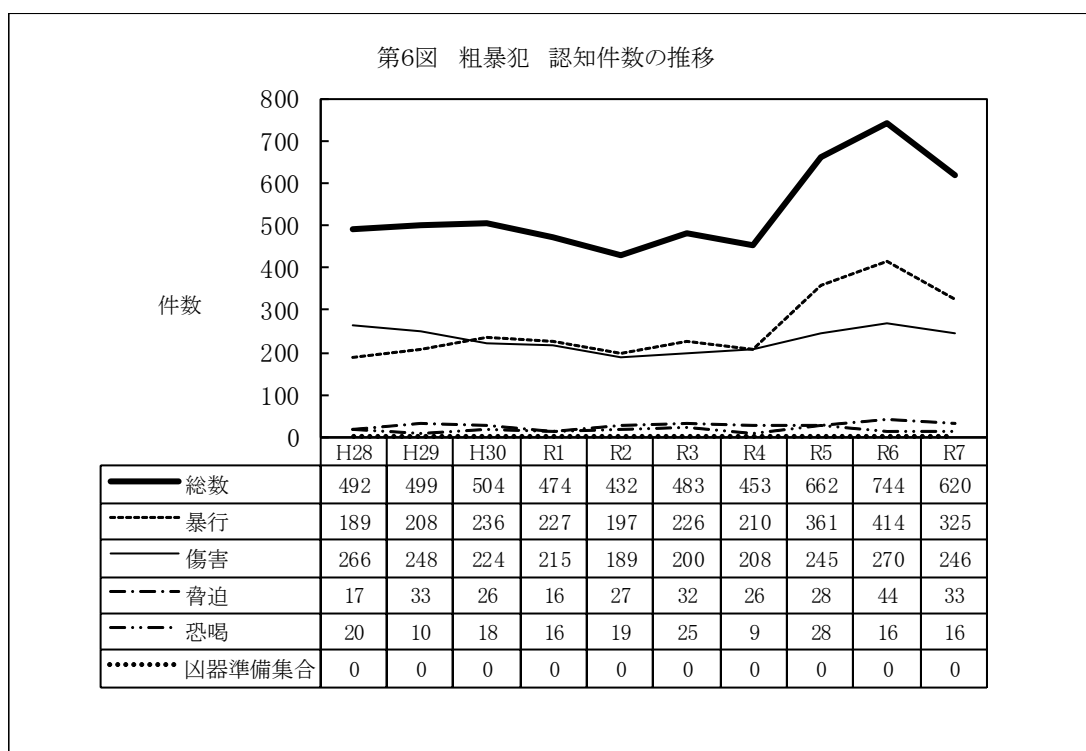
令和7年中の粗暴犯認知件数は、第5表のとおり620件で、前年に比べ、124件(16.7%)減少した。

罪種別にみると、暴行、傷害、脅迫が減少した。

第5表 粗暴犯認知件数増減比較

罪 種	令和7年		令和6年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	620	100.0	744	100.0	-124	-16.7
凶器準備集合	—	—	—	—	—	—
暴 行	325	52.4	414	55.6	-89	-21.5
傷 害	246	39.7	270	36.3	-24	-8.9
脅 迫	33	5.3	44	5.9	-11	-25.0
恐 喝	16	2.6	16	2.2	0	0.0

過去10年間の認知件数の推移をみると、第6図のとおり、令和6年が最も多い件数である。



(オ) 窃盗犯

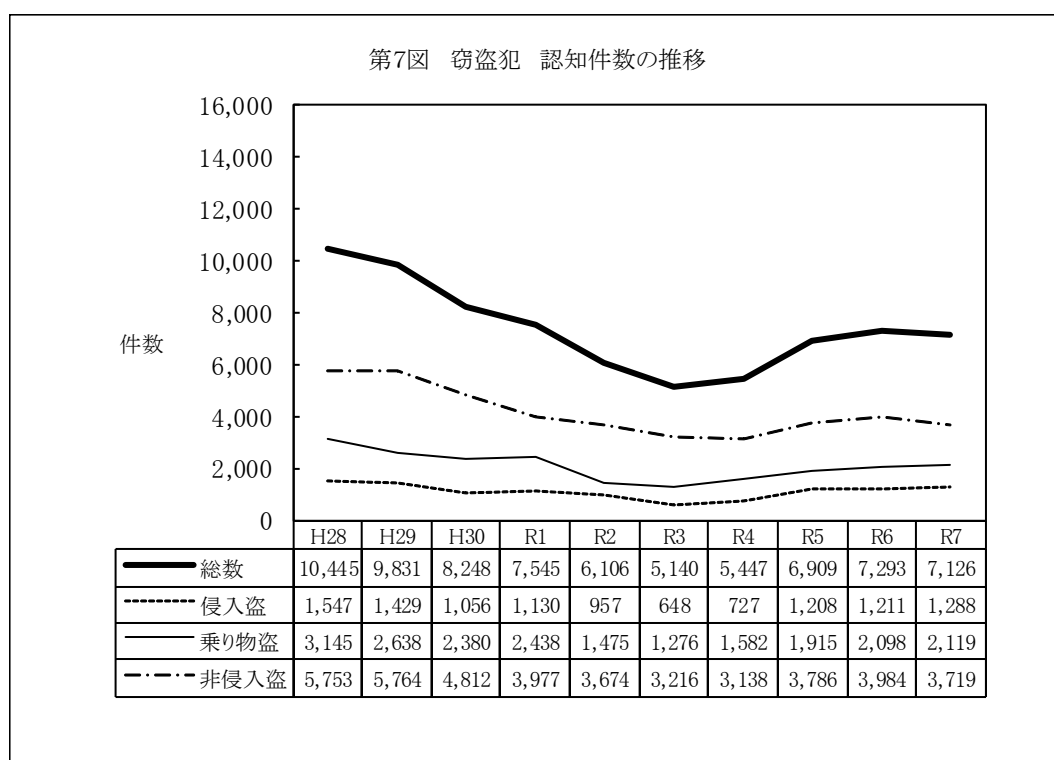
令和7年中の窃盗犯認知件数は、第6表のとおり7,126件で、前年に比べ、167件(2.3%)減少した。

手口別にみると、侵入盗、乗り物盗が増加し、非侵入盗が減少した。

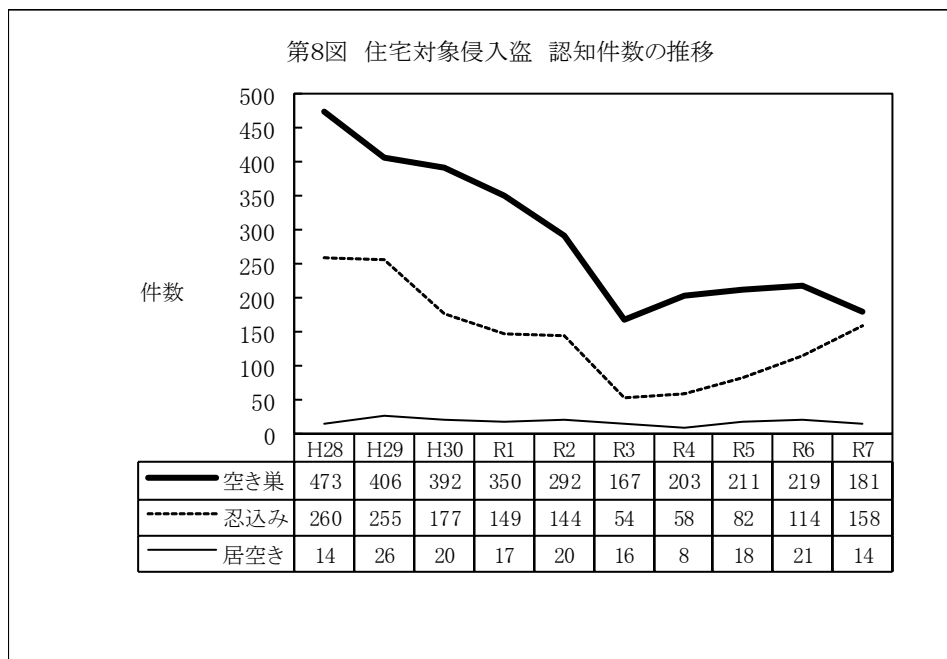
第6表 窃盗犯認知件数増減比較

手 口	令和7年		令和6年		増 減	
		構 成 比		構 成 比	件 数	率
総 数	7,126	100.0	7,293	100.0	-167	-2.3
侵 入 盗	1,288	18.1	1,211	16.6	77	6.4
乗 り 物 盗	2,119	29.7	2,098	28.8	21	1.0
非 侵 入 盗	3,719	52.2	3,984	54.6	-265	-6.7

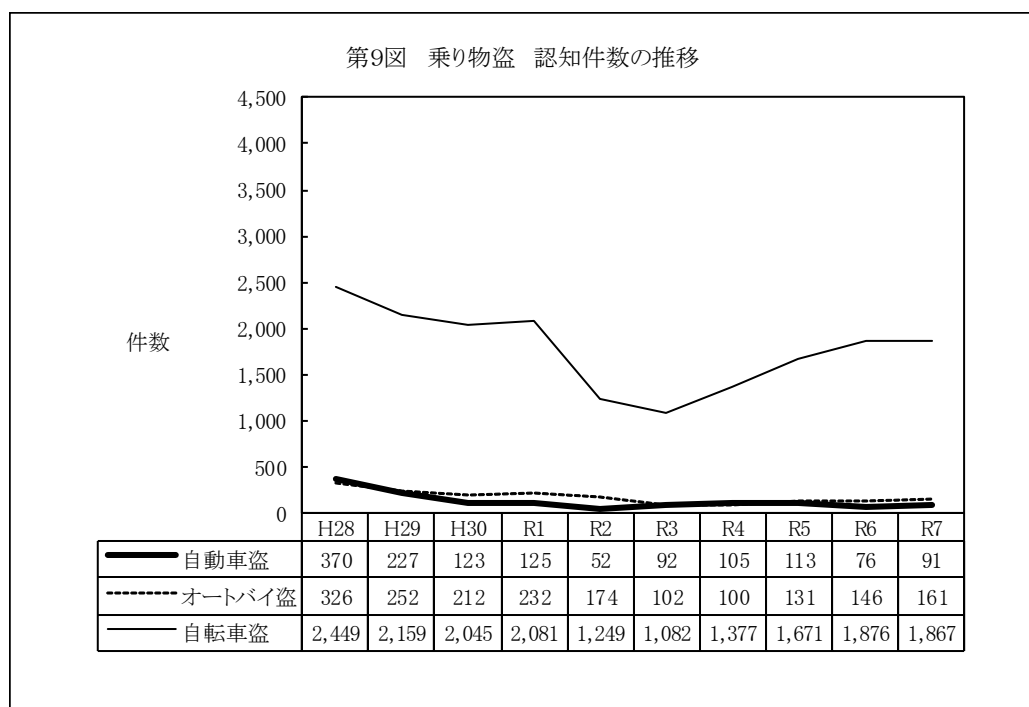
過去10年間の認知件数の推移をみると、第7図のとおり、平成28年以降は減少し、令和3年が最も少ない件数になっている。



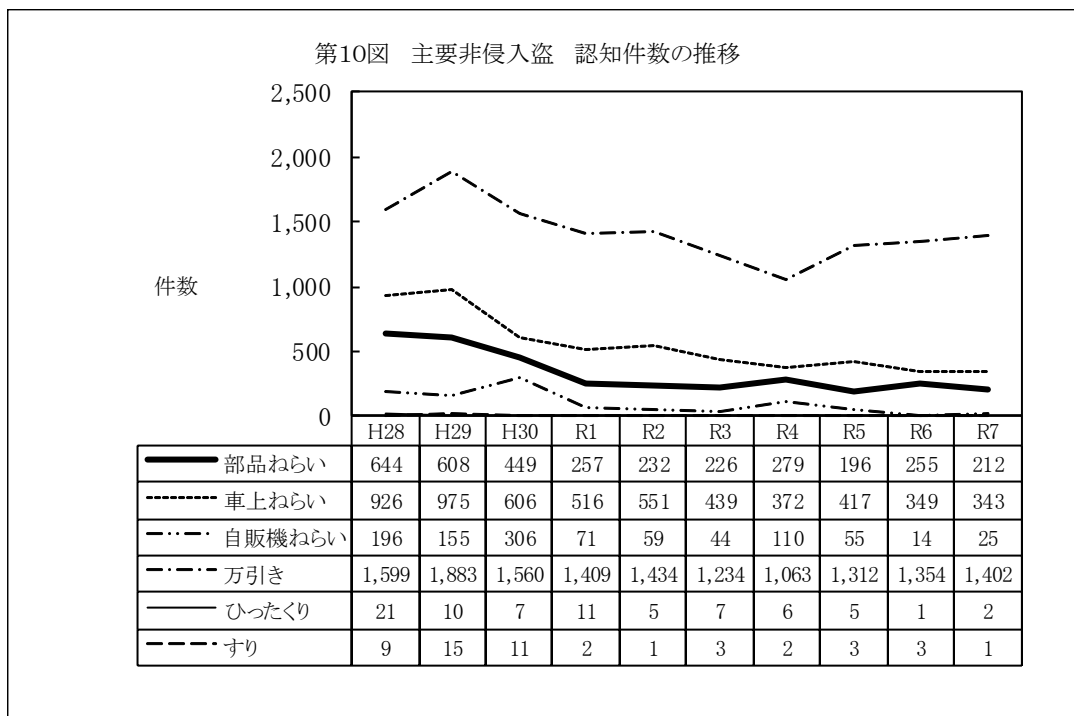
侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると、第8図のとおりで、令和7年は空き巣、居空きが減少し、忍込みが増加した。



乗り物盗について過去10年間の認知件数の推移をみると、第9図のとおりで、令和7年は自動車盗、オートバイ盗が増加し、自転車盗は減少した。



非侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると、第10図のとおり、令和7年は車上ねらいが過去10年で最少の件数となった。



(カ) 知能犯

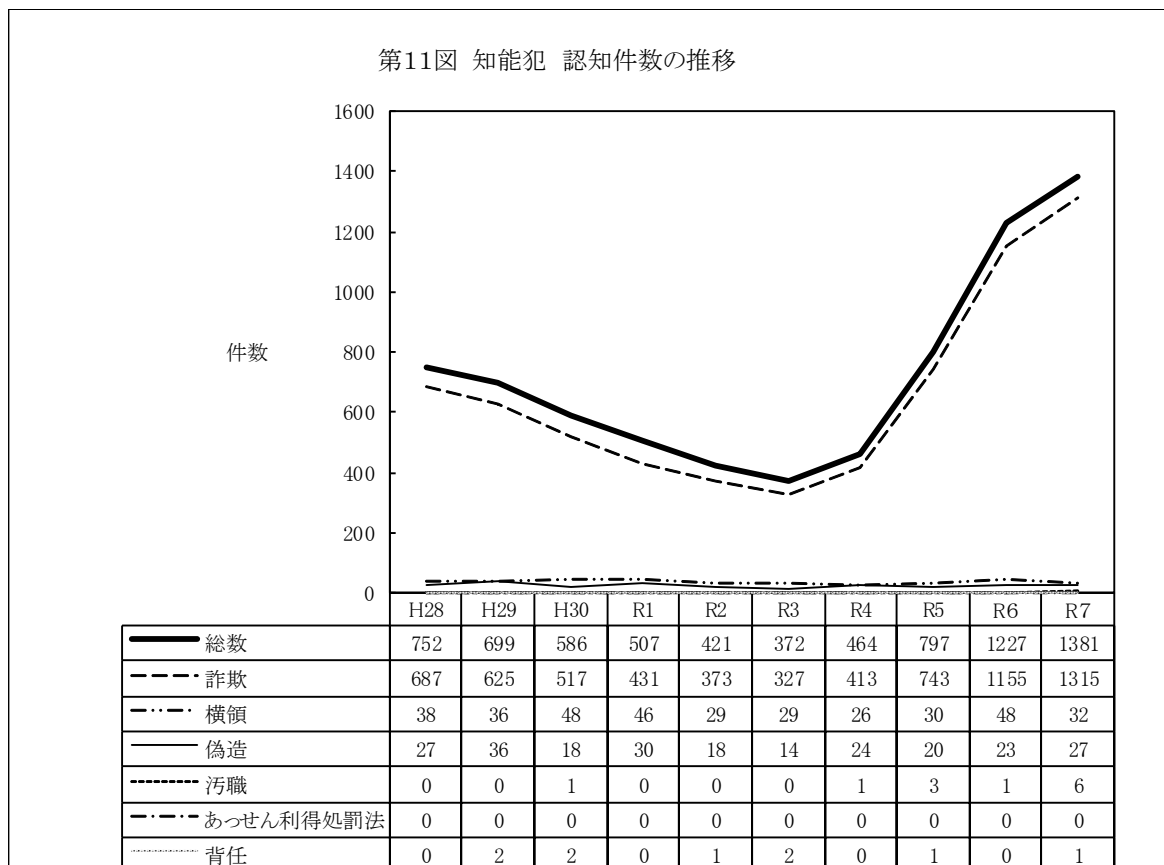
令和7年中の知能犯認知件数は、第7表のとおり1,381件で、前年に比べ、154件(12.6%)増加した。

罪種別にみると、詐欺、偽造、汚職、背任が増加した。

第7表 知能犯認知件数増減比較

罪 種	令和7年		令和6年		増 減	
	数	構成比	数	構成比	件 数	率
総 数	1,381	100.0	1,227	100.0	154	12.6
詐 欺	1,315	95.2	1,155	94.1	160	13.9
横 領	32	2.3	48	3.9	-16	-33.3
偽 造	27	2.0	23	1.9	4	17.4
汚 職	6	0.4	1	0.1	5	500.0
あっせん利得処罰法	-	-	-	-	-	-
背 任	1.0	0.1	-	-	1	-

過去10年間の認知件数の推移をみると、第11図のとおり、平成28年以降、詐欺の認知件数は減少しているが、令和4年以降は増加しており、令和7年は過去10年で最大の件数となった。



(キ) 風俗犯

令和7年中の風俗犯認知件数は、第8表のとおり220件で、前年に比べ、39件(21.5%)増加した。

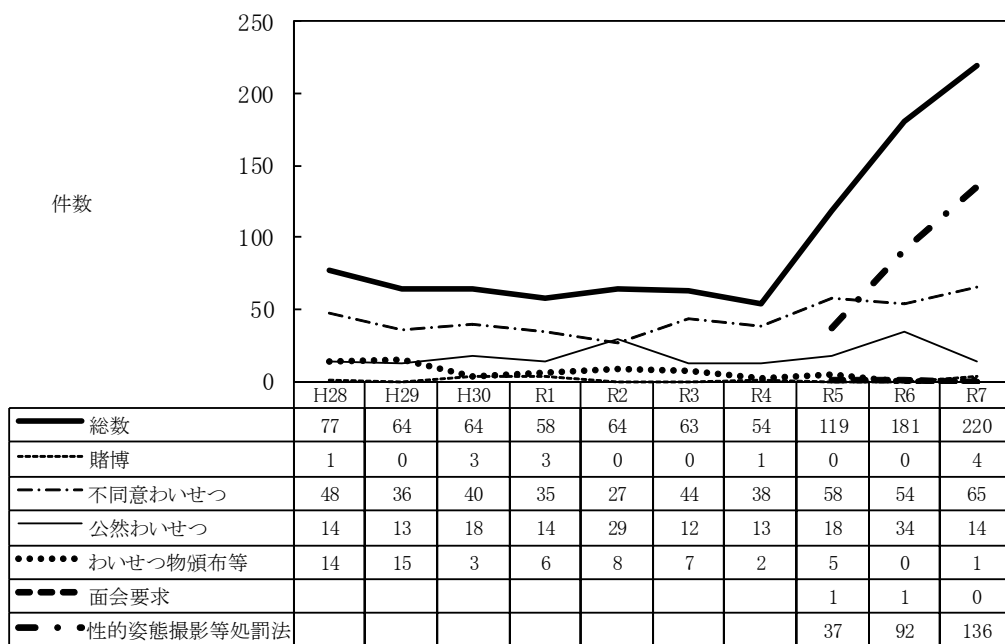
第8表 風俗犯認知件数増減比較

罪 種	令 和 7 年		令 和 6 年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	220	100.0	181	100.0	39	21.5
賭 博	4	1.8	—	—	4	—
不同意わいせつ	65	29.5	54	29.8	11	20.4
公然わいせつ	14	6.4	34	18.8	-20	-58.8
わいせつ物頒布等	1	0.5	—	—	1	—
面 会 要 求	—	—	1	0.6	-1	-100.0
性的 姿 態 撮 影 等 処 罰 法	136	61.8	92	50.8	44	47.8

過去10年間の認知件数の推移をみると、第12図のとおり、平成28年以降は減少し、令和4年が最も少ない件数になっている。

令和5年以降は新たな罪種(性的姿態撮影等処罰法)が追加された影響により、認知件数が大きく増加している。

第12図 風俗犯 認知件数の推移



(ク) その他の刑法犯

令和7年中のその他の刑法犯認知件数は、第9表のとおり1,272件で、前年に比べ、153件(10.7%)減少した。

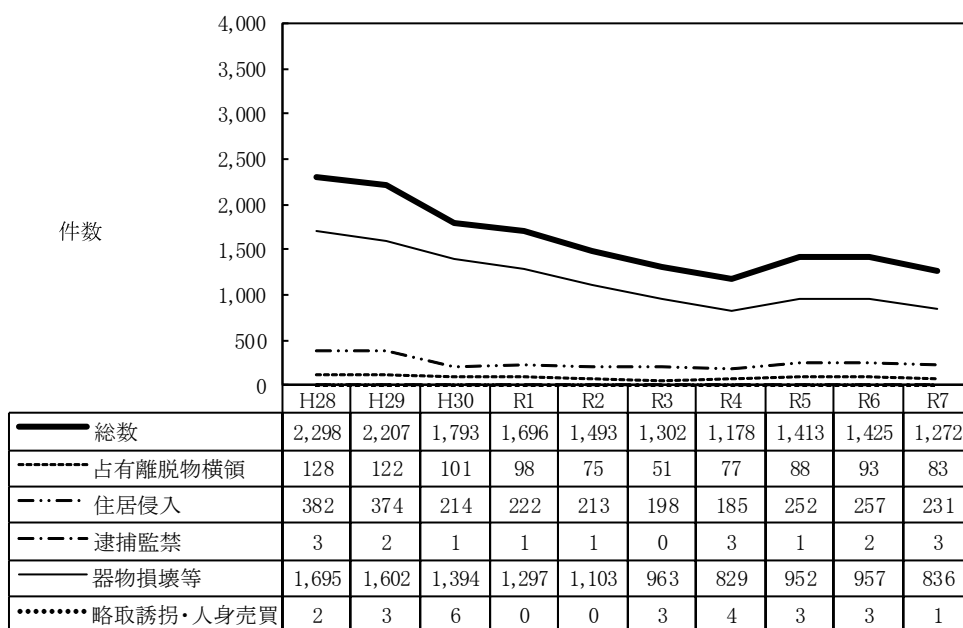
罪種別にみると、逮捕監禁を除く全ての罪種が減少した。

第9表 その他の刑法犯認知件数増減比較

罪 種	令和7年		令和6年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	1,272	100.0	1,425	100.0	-153	-10.7
略取誘拐・人身売買	1	0.1	3	0.2	-2	-66.7
占有離脱物横領	83	6.5	93	6.5	-10	-10.8
住 居 侵 入	231	18.2	257	18.0	-26	-10.1
逮 捕 監 禁	3	0.2	2	0.1	1	50.0
器 物 損 壊 等	836	65.7	957	67.2	-121	-12.6

過去10年間の認知件数の推移をみると、第13図のとおりで、令和4年に過去10年で最少の件数となり、その後増加したが、令和7年は再び減少した。

第13図 その他の主要刑法犯 認知件数の推移



ウ 警察署別刑法犯発生(認知)状況

令和7年中の刑法犯認知件数を警察署別にみると第10表のとおりで、令和7年は全18警察署のうち、11警察署で増加し、7警察署で減少した。

○ 前年に比べ増加した警察署

桑名、いなべ、亀山、津、大台、伊勢、鳥羽、熊野、紀宝、伊賀、名張の11警察署

○ 前年に比べ減少した警察署

四日市北、四日市南、四日市西、鈴鹿、津南、松阪、尾鷲の7警察署

第10表 警察署別刑法犯認知件数

署 別	令和7年	令和6年	増 減 数	増 減 率
桑 名	948	816	132	16.2
い な べ	367	301	66	21.9
四 日 市 北	970	1,052	-82	-7.8
四 日 市 南	1,378	1,580	-202	-12.8
四 日 市 西	238	266	-28	-10.5
亀 山	275	256	19	7.4
鈴 鹿	1,209	1,579	-370	-23.4
津	1,574	1,441	133	9.2
津 南	578	670	-92	-13.7
松 阪	1,092	1,138	-46	-4.0
大 台	63	60	3	5.0
伊 勢	686	667	19	2.8
鳥 羽	274	241	33	13.7
尾 鷲	82	84	-2	-2.4
熊 野	61	57	4	7.0
紀 宝	69	39	30	76.9
伊 賀	446	314	132	42.0
名 張	382	372	10	2.7
総 数	10,692	10,933	-241	-2.2

(2) 犯罪の被害状況

ア 生命・身体被害

令和7年中に刑法犯により生命・身体に被害を受けた者の総数は、第11表のとおり303人(死者16人、負傷者287人)で、前年に比べ11人減少した。

第11表 死傷被害者数

罪 種	令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
総 数	8	233	9	241	10	272	15	299	16	287
殺 人	1	5	7	5	3	2	6	3	6	3
強盗・不同意性交等	—	4	—	10	1	6	—	7	—	7
傷 害 ・ 同 致 死	2	212	—	215	2	251	3	283	2	257
過 失 致 死 傷	—	2	—	4	—	7	1	1	—	4
業 過 (交 を 除 く)	3	9	2	—	4	3	4	3	7	10
放 火 ・ 失 火	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
不 同 意 わ い せ つ	—	1	—	4	—	3	—	1	—	5
遺 棄	2	—	—	—	—	—	—	—	1	—
逮 捕 監 禁	—	—	—	2	—	—	—	1	—	1
恐 喝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建 造 物 損 壊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
決 闘 罪 ニ 関 ス ル 件	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

イ 財産被害

令和7年中に認知した財産犯(強盗、恐喝、窃盗、詐欺、横領及び占有離脱物横領をいう。以下同じ。)の被害総額は約69億円で、このうち現金被害額は約42億円である。

罪種別にみると、第12表及び第14図のとおりで、令和4年以降、詐欺の被害額が最も多くなっている。

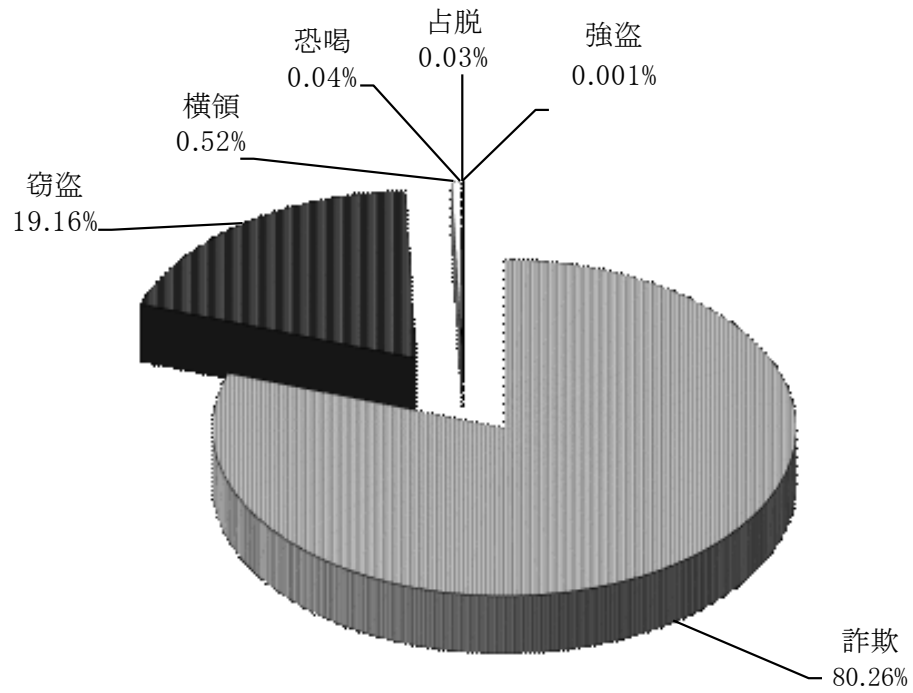
第12表 財産犯の被害額

[単位：千円]

罪 種	令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金
総 数	1,414,555	695,233	5,555,414	4,734,197	3,418,777	2,072,172	6,002,259	3,810,356	6,908,343	4,214,703
強 盗	875	869	7,793	7,680	321	234	412	228	90	53
恐 喝	24,895	24,895	30,768	25,416	19,685	17,289	1,248	577	3,070	2,929
窃 盗	875,525	206,429	899,513	165,634	1,111,583	216,878	1,678,165	390,286	1,323,629	172,771
詐 欺	296,245	264,024	4,419,154	4,347,500	2,142,419	1,723,582	4,177,802	3,287,544	5,543,757	4,023,414
横 領	215,878	198,401	197,083	187,509	142,296	113,116	140,673	130,596	36,006	14,785
占 脱	1,137	615	1,103	458	2,473	1,073	3,959	1,125	1,791	751

注：「占脱」とは占有離脱物横領をいい、その被害額は「横領」に含まない。

第14図 財産犯 被害額の罪種別構成比



(3) 検挙状況

ア 概況

令和7年中の刑法犯検挙状況は、第13表のとおり、検挙件数は4,322件、検挙人員は2,391人で、前年に比べ、検挙件数は増加し、検挙人員は減少した。

包括罪種別に前年と比較すると、検挙件数、検挙人員ともに粗暴犯を除く種別が増加した。

第13表 刑法犯検挙件数・検挙人員

包括罪種	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 7年	令和 6年	増 減		令和 7年	令和 6年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	4,322	3,626	696	19.2	2,391	2,397	-6	-0.3
凶 悪 犯	70	48	22	45.8	69	53	16	30.2
粗 暴 犯	531	661	-130	-19.7	566	692	-126	-18.2
窃 盗 犯	2,842	2,128	714	33.6	1,157	1,143	14	1.2
知 能 犯	289	252	37	14.7	184	169	15	8.9
風 俗 犯	186	145	41	28.3	154	97	57	58.8
そ の 他	404	392	12	3.1	261	243	18	7.4

刑法犯検挙件数、検挙人員の過去10年間の推移は、第14表のとおりである。

検挙件数は平成29年から減少し、令和4年が最も少ない件数となったが、令和5年からは増加傾向である。

検挙人員にあっても減少傾向を示しており、令和4年は20歳以上、少年ともに過去10年で最少の検挙人員となったが、令和5年からは増加傾向である。

第14表 刑法犯検挙状況

年 別	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
検 挙 件 数	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591	3,421	2,953	3,810	3,626	4,322
検 総 数	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397	2,391
20 歳 以 上	1,865	1,945	1,970	1,723	1,688	1,674	1,648	1,906	2,110	2,014
人 少 年	294	248	240	215	175	172	148	210	287	377
員 構 成 比	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4	9.3	8.2	9.9	12.0	15.8

注:検挙人員は検挙時年齢による。

刑法犯検挙人員2,391人を犯行時の年齢別にみると第15表のとおりで、令和7年は10代が大きく増加した。

第15表 刑法犯 犯行時の年齢別検挙人員の推移

年別 年齢別	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総 数	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397	2,391
14～19歳	296	259	245	219	180	178	152	218	293	384
20～29歳	319	327	289	290	324	301	337	345	419	352
30～39歳	316	318	314	262	267	265	242	281	339	313
40～49歳	380	339	352	326	302	291	288	341	369	352
50歳以上	848	950	1,010	841	790	811	777	931	977	990

イ 罪種別検挙状況

(ア) 重要犯罪

令和7年中の重要犯罪の検挙状況は、第16表のとおり、検挙件数は125件、検挙人員は110人、検挙率は89.9%であった。

第16表 重要犯罪検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率	
	令和 7年	令和 6年	増 減		令和 7年	令和 6年	令和 7年	令和 6年
			数	率				
総 数	125	93	32	34.4	110	92	89.9	77.5
殺 人	9	10	-1	-10.0	8	8	90.0	100.0
強 盗	8	7	1	14.3	13	14	114.3	70.0
放 火	6	3	3	100.0	7	4	66.7	150.0
不同意性交等	47	28	19	67.9	41	27	100.0	68.3
略取誘拐・人身売買	1	3	-2	-66.7	—	3	100.0	100.0
不同意わいせつ	54	42	12	28.6	41	36	83.1	77.8

(イ) 重要窃盗犯

令和7年中の重要窃盗犯の検挙状況は、第17表のとおり、検挙件数は723件、検挙人員は84人、検挙率は52.3%で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

検挙率は前年より13.6ポイント増加した。

第17表 重要窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率	
	令和 7年	令和 6年	増 減		令和 7年	令和 6年	令和 7年	令和 6年
			数	率				
総 数	723	500	223	44.6	84	82	52.3	38.7
侵 入 盗	646	459	187	40.7	76	74	50.2	37.9
	住宅対象	210	127	83	27	24	59.5	35.9
	そ の 他	436	332	104	49	50	46.6	38.7
自 動 車 盗	76	38	38	100.0	8	7	83.5	50.0
ひ っ た く り	1	2	-1	-50.0	-	1	50.0	200.0
す り	-	1	-1	-100.0	-	-	-	33.3

(ウ) 凶悪犯

令和7年中の凶悪犯の検挙状況は、第18表のとおり、検挙件数は70件、検挙人員は69人で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第18表 凶悪犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 7年	令和 6年	増 減		令和 7年	令和 6年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	70	48	22	45.8	69	53	16	30.2
殺 人	9	10	-1	-10.0	8	8	±0	±0.0
強 盗	8	7	1	14.3	13	14	-1	-7.1
放 火	6	3	3	100.0	7	4	3	75.0
不同意性交等	47	28	19	67.9	41	27	14	51.9

(エ) 粗暴犯

令和7年中の粗暴犯の検挙状況は、第19表のとおり、検挙件数は531件、検挙人員は566人で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。

第19表 粗暴犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 7年	令和 6年	増 減		令和 7年	令和 6年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	531	661	-130	-19.7	566	692	-126	-18.2
凶器準備集合	—	—	—	—	—	—	—	—
暴 行	291	380	-89	-23.4	303	411	-108	-26.3
傷 害	207	237	-30	-12.7	232	249	-17	-6.8
脅 迫	25	32	-7	-21.9	19	24	-5	-20.8
恐 喝	8	12	-4	-33.3	12	8	4	50.0

(オ) 窃盗犯

令和7年中の窃盗犯の検挙状況は、第20表のとおり、検挙件数2,842件、検挙人員1,157人で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

検挙件数を手口別にみると、空き巣、その他の侵入盗、自動車盗、色情ねらい、その他の非侵入盗の増加が目立ち、事務所荒し、出店荒しが大きく減少した。

第20表 窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 7年	令和 6年	増 減		令和 7年	令和 6年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	2,842	2,128	714	33.6	1,157	1,143	14	1.2
侵 入 盗	646	459	187	40.7	76	74	2	2.7
空 き 巣	152	54	98	181.5	24	12	12	100.0
忍 込 み	49	67	-18	-26.9	1	8	-7	-87.5
居 空 き	9	6	3	50.0	2	4	-2	-50.0
金 庫 破 り	2	7	-5	-71.4	1	1	±0	±0.0
学 校 荒 し	4	4	±0	±0.0	6	1	5	500.0
事 務 所 荒 し	11	84	-73	-86.9	7	4	3	75.0
出 店 荒 し	25	99	-74	-74.7	7	9	-2	-22.2
そ の 他	394	138	256	185.5	28	35	-7	-20.0
乗 り 物 盗	230	161	69	42.9	92	90	2	2.2
自 動 車 盗	76	38	38	100.0	8	7	1	14.3
オ ー ト バ イ 盗	40	31	9	29.0	29	27	2	7.4
自 転 車 盗	114	92	22	23.9	55	56	-1	-1.8
非 侵 入 盗	1,966	1,508	458	30.4	989	979	10	1.0
部 品 ね ら い	44	31	13	41.9	9	8	1	12.5
車 上 ね ら い	114	91	23	25.3	9	10	-1	-10.0
ひ っ た く り	1	2	-1	-50.0	—	1	-1	-100.0
す り	—	1	-1	-100.0	—	—	±0	±0.0
自 動 販 売 機 ね ら い	2	15	-13	-86.7	3	—	3	—
色 情 ね ら い	63	31	32	103.2	11	11	±0	±0.0
万 引 き	899	841	58	6.9	692	674	18	2.7
置 引 き	80	77	3	3.9	64	67	-3	-4.5
そ の 他	763	419	344	82.1	201	208	-7	-3.4

(カ) 知能犯

令和7年中の知能犯の検挙状況は、第21表のとおり、検挙件数289件、検挙人数184人で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第21表 知能犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 7年	令和 6年	増 減		令和 7年	令和 6年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	289	252	37	14.7	184	169	15	8.9
詐 欺	232	195	37	19.0	132	114	18	15.8
横 領	32	35	-3	-8.6	29	28	1	3.6
偽 造	19	21	-2	-9.5	21	26	-5	-19.2
汚 職	6	1	5	500.0	2	1	1	100.0
あっせん利得処罰法	-	-	-	-	-	-	-	-
背 任	-	-	-	-	-	-	-	-

(キ) 風俗犯

令和7年中の風俗犯の検挙状況は、第22表のとおり、検挙件数186件、検挙人員154人で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第22表 風俗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 7年	令和 6年	増 減		令和 7年	令和 6年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	186	145	41	28.3	154	97	57	58.8
賭 博	4	—	4	—	39	—	39	—
不同意わいせつ	54	42	12	28.6	41	36	5	13.9
公然わいせつ	14	30	-16	-53.3	9	17	-8	-47.1
わいせつ物頒布等	1	1	±0	±0.0	1	—	1	—
面 会 要 求	—	—	—	—	—	—	—	—
性的姿態撮影等処罰法	113	72	41	56.9	64	44	20	45.5

(ク) その他の刑法犯

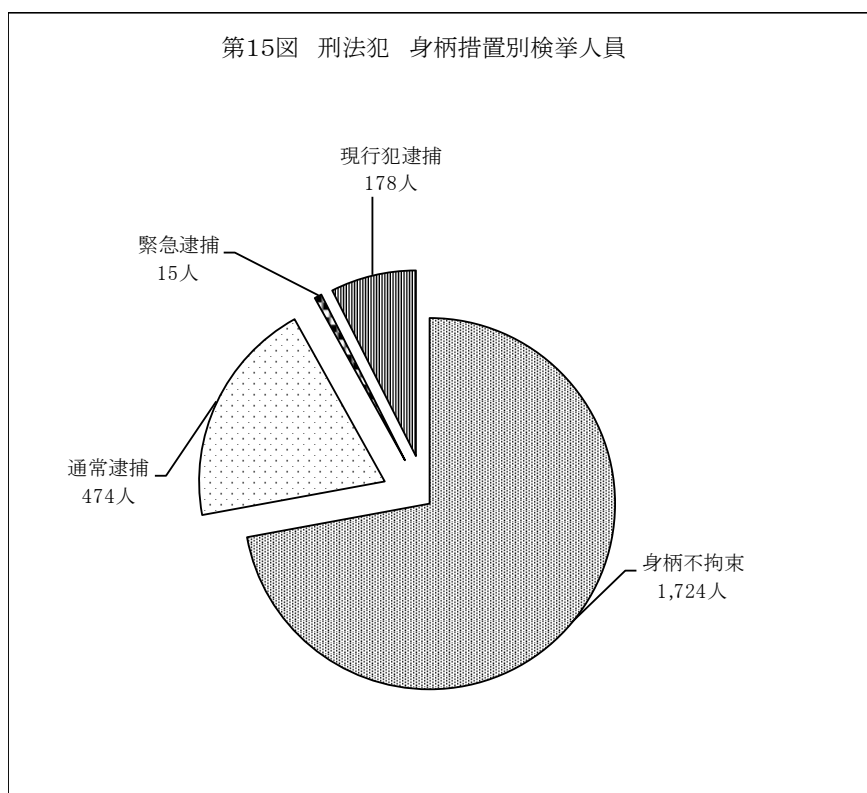
令和7年中のその他の刑法犯の検挙状況は、第23表のとおり、検挙件数404件、検挙人員261人で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第23表 その他の刑法犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 7年	令和 6年	増 減		令和 7年	令和 6年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	404	392	12	3.1	261	243	18	7.4
略取誘拐・人身売買	1	3	-2	-66.7	-	3	-3	-100.0
占有離脱物横領	74	90	-16	-17.8	67	79	-12	-15.2
住 居 侵 入	96	66	30	45.5	47	30	17	56.7
逮 捕 監 禁	3	2	1	50.0	5	1	4	400.0
器 物 損 壊 等	94	147	-53	-36.1	56	56	±0	±0.0

ウ 身柄措置別検挙状況

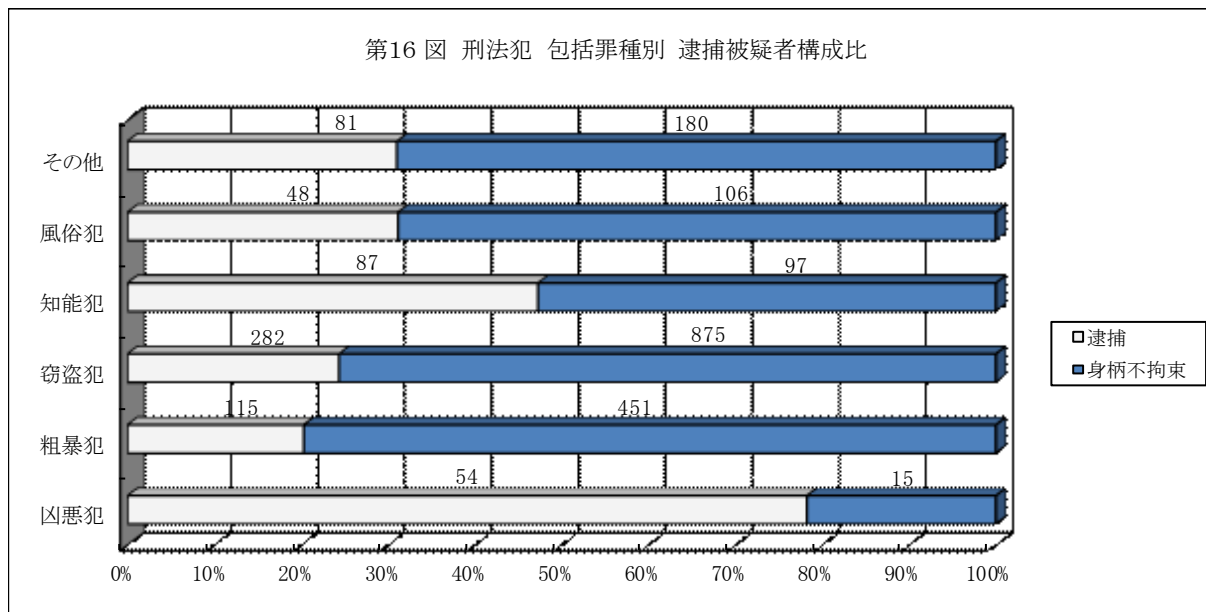
令和7年中の刑法犯検挙人員2,391人を身柄措置別にみると、第15図及び第24表のとおりで、身柄不拘束者は1,724人、逮捕者(通常逮捕、緊急逮捕、現行犯逮捕)は667人であった。



第24表 刑法犯包括罪種別身柄措置別検挙人員

身柄措置別 包括罪種別		総 数	身柄不拘束	逮 捕 計	現行犯逮捕	緊急逮捕	通常逮捕
総 数	令和7年	2,391	1,724	667	178	15	474
	令和6年	2,397	1,773	624	175	9	440
	増減数	-6	-49	+43	+3	+6	+34
凶 悪 犯	令和7年	69	15	54	5	2	47
	令和6年	53	11	42	4	2	36
	増減数	+16	+4	+12	+1	±0	+11
粗 暴 犯	令和7年	566	451	115	44	-	71
	令和6年	692	550	142	58	-	84
	増減数	-126	-99	-27	-14	±0	-13
窃 盗 犯	令和7年	1,157	875	282	90	8	184
	令和6年	1,143	906	237	71	6	160
	増減数	+14	-31	+45	+19	+2	+24
うち) 侵入盗	令和7年	76	17	59	9	1	49
	令和6年	74	16	58	6	1	51
	増減数	+2	+1	+1	+3	±0	-2
知 能 犯	令和7年	184	97	87	9	2	76
	令和6年	169	71	98	7	-	91
	増減数	+15	+26	-11	+2	+2	-15
風 俗 犯	令和7年	154	106	48	7	-	41
	令和6年	97	62	35	3	-	32
	増減数	+57	+44	+13	+4	±0	+9
そ の 他	令和7年	261	180	81	23	3	55
	令和6年	243	173	70	32	1	37
	増減数	+18	+7	+11	-9	+2	+18

また、包括罪種別に逮捕被疑者の構成比をみると、第16図のとおりで、逮捕被疑者の占める率が最も高いのは凶悪犯で、最も低いのは粗暴犯である。



エ 女性に係る犯罪

令和7年中における女性被害に係る刑法犯認知件数は、第25表のとおり2,705件で、前年に比べ、20件減少した。

包括罪種別に女性被害の割合をみると、特に風俗犯では被害の88.3%、凶悪犯では被害の74.3%と高くなっている。

第25表 女性被害に係る刑法犯認知件数前年対比

区 分	令和7年			令和6年			増 減		
	人の被害 の 計	うち)女性	構成比	人の被害 の 計	うち)女性	構成比	人の被害 の 計	うち)女性	ポイント
総 数	7,538	2,705	35.9	7,705	2,725	35.4	-167	-20	0.5
凶 悪 犯	70	52	74.3	60	49	81.7	10	3	-7.4
粗 暴 犯	619	269	43.5	744	352	47.3	-125	-83	-3.8
窃 盗 犯	4,584	1,395	30.4	4,745	1,378	29.0	-161	17	1.4
侵入盗	915	295	32.2	865	281	32.5	50	14	-0.3
乗り物盗	2,077	598	28.8	2,053	541	26.4	24	57	2.4
非侵入盗	1,592	502	31.5	1,827	556	30.4	-235	-54	1.1
知 能 犯	1,176	485	41.2	1,023	434	42.4	153	51	-1.2
風 俗 犯	206	182	88.3	155	146	94.2	51	36	-5.9
そ の 他	883	322	36.5	978	366	37.4	-95	-44	-0.9

刑法犯認知件数の過去10年間の推移をみると、第26表のとおりで、平成28年以降、減少していたが、令和4年以降は増加傾向である。

第26表 女性被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総 数	14,112	13,346	11,247	10,322	8,560	7,410	7,647	9,955	10,933	10,692
女性被害	3,089	3,035	2,587	2,466	2,028	1,652	1,743	2,446	2,725	2,705
構 成 比	21.9	22.7	23.0	23.9	23.7	22.3	22.8	24.6	24.9	25.3
凶 悪 犯	48	46	52	42	44	50	51	55	63	73
女性被害	24	27	21	19	26	25	35	38	49	52
構 成 比	50.0	58.7	40.4	45.2	59.1	50.0	68.6	69.1	77.8	71.2
粗 暴 犯	492	499	504	474	432	483	453	662	744	620
女性被害	198	226	225	204	205	219	206	307	352	269
構 成 比	40.2	45.3	44.6	43.0	47.5	45.3	45.5	46.4	47.3	43.4
窃 盗 犯	10,445	9,831	8,248	7,545	6,106	5,140	5,447	6,909	7,293	7,126
女性被害	2,070	1,971	1,668	1,644	1,225	920	1,011	1,343	1,378	1,395
構 成 比	19.8	20.0	20.2	21.8	20.1	17.9	18.6	19.4	18.9	19.6
知 能 犯	752	699	586	507	421	372	464	797	1,227	1,381
女性被害	146	190	121	115	122	99	142	310	434	485
構 成 比	19.4	27.2	20.6	22.7	29.0	26.6	30.6	38.9	35.4	35.1
風 俗 犯	77	64	64	58	64	63	54	119	181	220
女性被害	51	41	49	38	38	50	42	100	146	182
構 成 比	66.2	64.1	76.6	65.5	59.4	79.4	77.8	84.0	80.7	82.7
そ の 他	2298	2207	1793	1696	1493	1302	1178	1413	1425	1272
女性被害	600	580	503	446	412	339	307	348	366	322
構 成 比	26.1	26.3	28.1	26.3	27.6	26.0	26.1	24.6	25.7	25.3

刑法犯検挙人員の推移は、第27表のとおり488人で、前年に比べ、25人減少した。刑法犯検挙人員に占める女性の割合は20.4%で、前年に比べ1.0ポイント減少した。

第27表 女性の刑法犯検挙人員の推移

区 分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総 数	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397	2,391
女性被疑者	462	487	488	458	429	401	384	460	513	488
構 成 比	21.4	22.2	22.1	23.6	23.0	21.7	21.4	21.7	21.4	20.4
凶 悪 犯	37	37	35	45	51	40	46	44	53	69
女性被疑者	6	6	3	3	4	4	-	5	4	6
構 成 比	16.2	16.2	8.6	6.7	7.8	10.0	-	11.4	7.5	8.7
粗 暴 犯	361	366	393	388	357	406	382	547	692	566
女性被疑者	28	24	28	39	39	35	50	84	99	77
構 成 比	7.8	6.6	7.1	10.1	10.9	8.6	13.1	15.4	14.3	13.6
窃 盗 犯	1,334	1,364	1,228	1,115	1,059	1,010	950	1,085	1,143	1,157
女性被疑者	376	406	375	368	326	306	279	315	336	334
構 成 比	28.2	29.8	30.5	33.0	30.8	30.3	29.4	29.0	29.4	28.9
知 能 犯	157	176	212	164	141	183	203	174	169	184
女性被疑者	28	32	46	33	33	39	38	30	42	39
構 成 比	17.8	18.2	21.7	20.1	23.4	21.3	18.7	17.2	24.9	21.2
風 俗 犯	56	33	149	53	43	39	44	53	97	154
女性被疑者	4	1	14	-	-	-	2	-	1	2
構 成 比	7.1	3.0	9.4	-	-	-	4.5	-	1.0	1.3
そ の 他	214	217	193	173	212	168	171	213	243	261
女性被疑者	20	18	22	15	27	17	15	26	31	30
構 成 比	9.3	8.3	11.4	8.7	12.7	10.1	8.8	12.2	12.8	11.5

オ 高齢者に係る犯罪

令和7年中における高齢者被害に係る刑法犯認知件数は、第28表のとおり1,391件で、前年に比べ32件減少した。刑法犯全体に占める高齢者被害の割合は13.0%で、前年と変わらなかった。

第28表 高齢者被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総 数	14,112	13,346	11,247	10,322	8,560	7,410	7,647	9,955	10,933	10,692
高齢被疑者	1,621	1,523	1,194	1,243	1,061	849	905	1,388	1,423	1,391
構 成 比	11.5	11.4	10.6	12.0	12.4	11.5	11.8	13.9	13.0	13.0
凶 悪 犯	48	46	52	42	44	50	51	55	63	73
高齢被疑者	2	8	8	6	6	1	7	5	5	8
構 成 比	4.2	17.4	15.4	14.3	13.6	2.0	13.7	9.1	7.9	11.0
粗 暴 犯	492	499	504	474	432	483	453	662	744	620
高齢被疑者	35	35	40	45	46	50	35	75	69	62
構 成 比	7.1	7.0	7.9	9.5	10.6	10.4	7.7	11.3	9.3	10.0
窃 盗 犯	10,445	9,831	8,248	7,545	6,106	5,140	5,447	6,909	7,293	7,126
高齢被疑者	1,140	1,096	831	857	715	517	597	874	861	843
構 成 比	10.9	11.1	10.1	11.4	11.7	10.1	11.0	12.7	11.8	11.8
知 能 犯	752	699	586	507	421	372	464	797	1,227	1,381
高齢被疑者	139	105	83	79	82	91	124	231	273	293
構 成 比	18.5	15.0	14.2	15.6	19.5	24.5	26.7	29.0	22.2	21.2
風 俗 犯	77	64	64	58	64	63	54	119	181	220
高齢被疑者			2				2	4	3	4
構 成 比	-	-	3.1	-	-	-	3.7	3.4	1.7	1.8
そ の 他	2,298	2,207	1,793	1,696	1,493	1,302	1,178	1,413	1,425	1,272
高齢被疑者	305	279	230	256	212	190	140	199	212	181
構 成 比	13.3	12.6	12.8	15.1	14.2	14.6	11.9	14.1	14.9	14.2

令和7年中における高齢被疑者の検挙人員は、第29表のとおり476人で、全体に占める割合は19.9%で、前年に比べ、1.8ポイント減少した。

第29表 高齢者の刑法犯検挙人員の推移

区 分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総 数	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397	2,391
高齢被疑者	486	510	558	457	425	417	410	503	521	476
構 成 比	22.5	23.3	25.2	23.6	22.8	22.6	22.8	23.8	21.7	19.9
凶 悪 犯	37	37	35	45	51	40	46	44	53	69
高齢被疑者	2	5	4	4	4	3	4	3	5	2
構 成 比	5.4	13.5	11.4	8.9	7.8	7.5	8.7	6.8	9.4	2.9
粗 暴 犯	361	366	393	388	357	406	382	547	692	566
高齢被疑者	34	44	59	55	43	51	56	84	93	66
構 成 比	9.4	12.0	15.0	14.2	12.0	12.6	14.7	15.4	13.4	11.7
窃 盗 犯	1,334	1,364	1,228	1,115	1,059	1,010	950	1,085	1,143	1,157
高齢被疑者	400	415	405	340	332	318	292	355	350	334
構 成 比	30.0	30.4	33.0	30.5	31.4	31.5	30.7	32.7	30.6	28.9
知 能 犯	157	176	212	164	141	183	203	174	169	184
高齢被疑者	11	17	26	16	13	14	20	14	20	18
構 成 比	7.0	9.7	12.3	9.8	9.2	7.7	9.9	8.0	11.8	9.8
風 俗 犯	56	33	149	53	43	39	44	53	97	154
高齢被疑者	8	3	31	5	3	6	8	10	9	16
構 成 比	14.3	9.1	20.8	9.4	7.0	15.4	18.2	18.9	9.3	10.4
そ の 他	214	217	193	173	212	168	171	213	243	261
高齢被疑者	31	26	33	37	30	25	30	37	44	40
構 成 比	14.5	12.0	17.1	21.4	14.2	14.9	17.5	17.4	18.1	15.3

2 特別法犯検挙状況

令和7年中における特別法犯の検挙状況は、第30表のとおり、検挙件数は575件、検挙人員は418人で、前年に比べ、検挙件数は28件増加し、検挙人員は25人増加した。

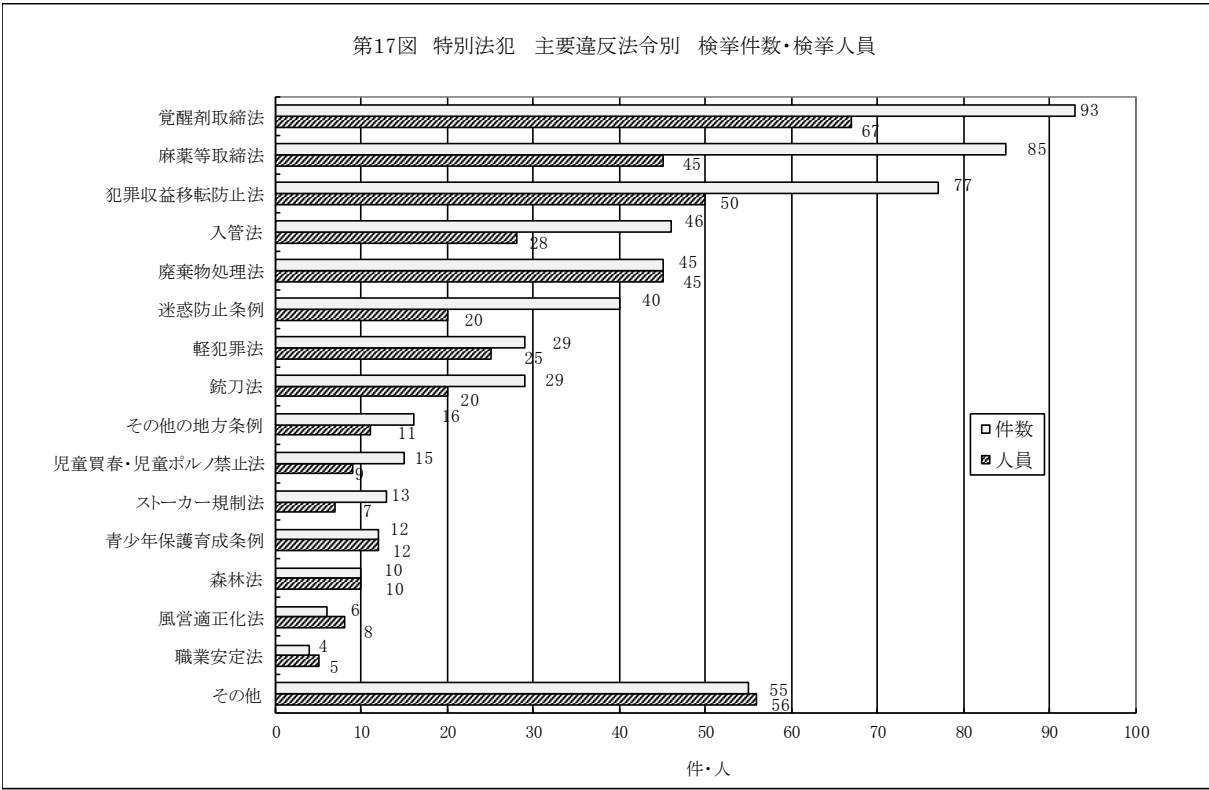
検挙件数を違反法令別にみると、麻薬等取締法、廃棄物処理法等が増加し、大麻草栽培規制法、不正アクセス禁止法等が減少した。

第30表 特別法犯検挙状況

違反法令別	検挙件数			検挙人員		
	令和7年	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数
公職選挙法	1	2	-1	2	1	1
政治資金規正法	1	-	1	2	-	2
入管法	46	55	-9	28	34	-6
軽犯罪法	29	29	±0	25	32	-7
迷惑防止条例	40	42	-2	20	30	-10
動物愛護管理法	-	9	-9	-	14	-14
ストーカー規制法	13	7	6	7	7	±0
特殊開錠用具所持禁止法	2	-	2	-	-	-
私事性的画像被害防止法	1	-	1	1	-	1
モーターボート競走法	2	1	1	3	1	2
風営適正化法	6	6	±0	8	7	1
売春防止法	2	-	2	2	-	2
児童福祉法	-	1	-1	1	-	1
二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律	7	6	1	7	6	1
青少年保護育成条例	12	16	-4	12	15	-3
児童買春・児童ポルノ禁止法	15	16	-1	9	5	4
貸金業法	1	-	1	1	-	1
犯罪収益移転防止法	77	72	5	50	38	12
銃刀法	29	27	2	20	25	-5
狩猟法	2	1	1	2	1	1
麻薬等取締法	85	8	77	45	5	40
大麻草栽培規制法	1	46	-45	1	21	-20
覚醒剤取締法	93	88	5	67	61	6
医薬品医療機器等法	5	1	4	3	1	2
毒劇物法	-	1	-1	-	1	-1

違 反 法 令 別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和7年	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数
麻 薬 等 特 例 法	1	10	-9	1	5	-4
医 師 法	1	-	1	2	-	2
歯 科 衛 生 士 法	1	-	1	6	-	6
食 品 衛 生 法	2	-	2	4	-	4
廃 棄 物 処 理 法	45	33	12	45	33	12
狂 犬 病 予 防 法	3	5	-2	1	5	-4
建 設 資 材 再 資 源 化 法	-	1	-1	-	1	-1
職 業 安 定 法	4	-	4	5	-	5
不 正 競 争 防 止 法	1	-	1	1	-	1
割 賦 販 売 法	1	-	1	-	-	-
特 定 商 取 引 法	2	2	±0	-	3	-3
森 林 法	10	5	5	10	5	5
漁 業 法	3	3	±0	4	5	-1
鉄 道 営 業 法	-	1	-1	-	1	-1
電 波 法	1	1	±0	1	-	1
不 正 ア ク セ ス 禁 止 法	5	20	-15	1	5	-4
弁 護 士 法	2	-	2	2	-	2
地 方 公 務 員 法	1	1	±0	2	4	-2
民 事 執 行 法	4	9	-5	4	9	-5
会 社 法	-	1	-1	-	-	-
破 産 法	-	1	-1	-	2	-2
商 標 法	2	9	-7	2	1	1
旅 券 法	-	1	-1	-	-	-
社 会 福 祉 法	-	1	-1	-	2	-2
四日市市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	-	3	-3	-	3	-3
四日市市客引き行為等の防止に関する条例	-	1	-1	-	1	-1
津市廃棄物の減量及び処理等に関する条例	3	-	3	3	-	3
三重県盗難自動車の解体及び輸出の防止等に関する条例	1	-	1	-	-	-
三 重 県 漁 業 調 整 規 則	1	2	-1	2	1	1
紀北町生活環境の保全に関する条例	4	-	4	2	-	2
三重県動物の愛護及び管理に関する条例	7	3	4	4	2	2
総 数	575	547	28	418	393	25

違反法令別に比較すると、第17図のとおりで、検挙件数は覚醒剤取締法、麻薬等取締法、犯罪収益移転防止法が上位を占めている。



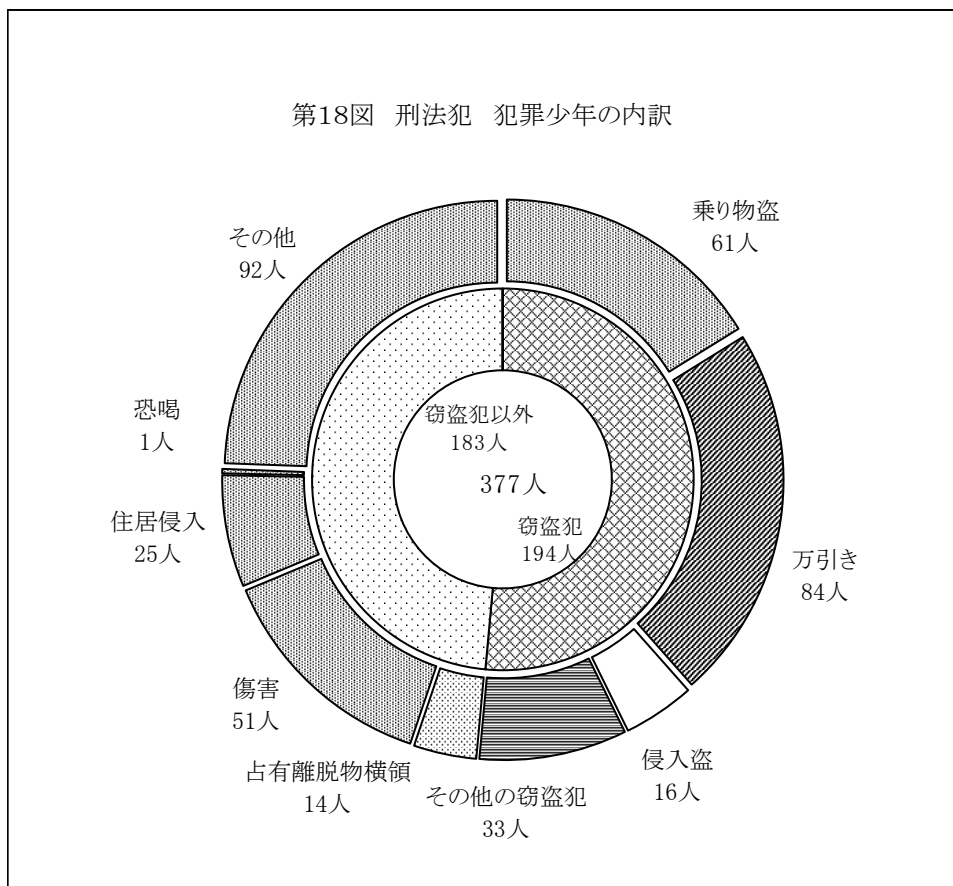
3 少年犯罪の状況

(1) 令和7年中に検挙された刑法犯の犯罪少年は、第31表のとおり377人で、前年に比べ、全ての罪種で増加し、全体では90人(31.4%)増加した。

第31表 刑法犯犯罪少年検挙人員増減比較

包括罪種	令和7年	構成比		令和6年	構成比		増減	
							人員	率
総数	377	100.0		287	100.0		90	31.4
凶悪犯	8	2.1		4	1.4		4	100.0
粗暴犯	66	17.5		45	15.7		21	46.7
窃盗犯	194	51.5		167	58.2		27	16.2
知能犯	14	3.7		5	1.7		9	180.0
風俗犯	29	7.7		8	2.8		21	262.5
その他	66	17.5		58	20.2		8	13.8

罪名・手口別にみると、第18図のとおりで、窃盗犯が約5割を占めており、乗り物盗、万引きの占める割合が高い。



(2) 刑法犯検挙人員に占める犯罪少年として検挙された被疑者の過去10年間の推移を犯行時年齢別にみると、第32表のとおり、14歳から16歳までの低年齢層が約5割から6割となっている。

第32表 刑法犯の犯行時年齢別検挙人員の推移(14～19歳)

区 分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総数	294	248	240	215	175	172	148	210	287	377
14歳	45	36	33	43	19	21	19	18	33	49
15歳	63	32	52	30	27	25	22	33	48	60
16歳	60	53	59	43	47	40	25	53	67	93
17歳	58	52	34	41	33	46	35	47	69	77
18歳	36	44	38	41	36	20	25	31	41	57
19歳	32	31	24	17	13	20	22	28	29	41

- (3) 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比の10年間の推移をみると、第33表のとおりで、平成28年以降、減少傾向であったが、令和5年以降は増加に転じている。

第33表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比

区 分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総 数	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397	2,391
うち)少年	294	248	240	215	175	172	148	210	287	377
構 成 比	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4	9.3	8.2	9.9	12.0	15.8

- (4) 令和7年中の刑法犯検挙人員に占める少年の構成比を警察署別にみると、第34表のとおりで、犯罪少年の構成比が最も高かったのは、四日市西警察署の34%で、大台警察署は少年の検挙がなかった。

第34表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比(警察署別)

区 分		令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年	区 分		令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総 数	総 数	1,846	1,796	2,116	2,397	2,391	松 阪 大 台	総 数	188	191	173	222	238
	うち)少年	172	148	210	287	377		うち)少年	5	10	14	32	44
	構 成 比	9.3	8.2	9.9	12.0	15.8		構 成 比	2.7	5.2	8.1	14.4	18.5
桑 名	総 数	153	157	132	174	160	伊 勢 鳥 羽 尾 鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	2	15	11	10	11
	うち)少年	11	21	11	21	24		うち)少年	-	1	-	-	-
	構 成 比	7.2	13.4	8.3	12.1	15.0		構 成 比	-	6.7	-	-	-
い な べ	総 数	68	58	64	67	59		総 数	209	180	174	205	170
	うち)少年	11	2	4	11	8		うち)少年	12	10	16	16	31
	構 成 比	16.2	3.4	6.3	16.4	13.6		構 成 比	5.7	5.6	9.2	7.8	18.2
四 北	総 数	137	118	156	216	217		総 数	49	83	87	90	84
	うち)少年	10	8	10	39	39		うち)少年	2	9	17	16	11
	構 成 比	7.3	6.8	6.4	18.1	18.0		構 成 比	4.1	10.8	19.5	17.8	13.1
四 南	総 数	175	175	285	353	254		総 数	26	37	35	32	25
	うち)少年	18	19	39	44	42		うち)少年	-	1	3	1	2
	構 成 比	10.3	10.9	13.7	12.5	16.5		構 成 比	-	2.7	8.6	3.1	8.0
四 西	総 数	55	44	46	59	50		総 数	24	16	20	30	29
	うち)少年	8	7	13	9	17		うち)少年	-	1	-	1	6
	構 成 比	14.5	15.9	28.3	15.3	34.0		構 成 比	-	6.3	-	3.3	20.7
亀 山	総 数	64	47	47	56	53		総 数	19	14	17	21	19
	うち)少年	4	3	2	2	2		うち)少年	-	-	1	-	2
	構 成 比	6.3	6.4	4.3	3.6	3.8		構 成 比	-	-	5.9	-	10.5
鈴 鹿	総 数	273	211	299	296	296		総 数	58	55	66	79	103
	うち)少年	55	14	39	30	60		うち)少年	10	4	1	2	6
	構 成 比	20.1	6.6	13.0	10.1	20.3		構 成 比	17.2	7.3	1.5	2.5	5.8
津	総 数	179	160	286	249	357		総 数	64	86	94	98	114
	うち)少年	6	18	23	25	30		うち)少年	7	7	5	18	23
	構 成 比	3.4	11.3	8.0	10.0	8.4		構 成 比	10.9	8.1	5.3	18.4	20.2
津 南	総 数	103	149	124	139	151		総 数	-	-	-	1	1
	うち)少年	13	13	12	20	30		うち)少年	-	-	-	-	-
	構 成 比	12.6	8.7	9.7	14.4	19.9		構 成 比	-	-	-	-	-

4 暴力団犯罪の状況

- (1) 令和7年中の暴力団の検挙状況は、第35表のとおりであり、刑法犯、特法犯を合わせた総検挙件数は107件、総検挙人員は96人で、前年に比べ、検挙件数は13件減少し、検挙人員は21人増加した。

第35表 暴力団犯罪検挙状況

区 分		平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総 数	件数	225	673	256	314	280	226	175	162	120	107
	人員	151	140	188	136	119	113	91	85	75	96
刑 法 犯	件数	139	589	190	253	233	175	117	113	71	80
	人員	108	97	149	99	93	75	67	48	50	71
特 別 法 犯	件数	86	84	66	61	47	51	58	49	49	27
	人員	43	43	39	37	26	38	24	37	25	25

- (2) 暴力団犯罪のうち、刑法犯の検挙状況を前年と比較すると、第36表のとおり、検挙件数は9件増加し、検挙人員は21人増加した。

第36表 暴力団犯罪(刑法犯)罪種別検挙件数・検挙人員

罪 種	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和7年	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数
総 数	80	71	9	71	50	21
殺 人	-	2	-2	-	1	-1
強 盗	1	-	1	2	-	2
放 火	-	1	-1	-	1	-1
不 同 意 性 交 等	1	1	±0	-	1	-1
凶 器 準 備 集 合	-	-	±0	-	-	±0
暴 行	1	5	-4	1	6	-5
傷 害	5	6	-1	4	7	-3
脅 迫	1	2	-1	1	1	±0
恐 喝	2	2	±0	1	2	-1
窃 盗	46	26	20	5	6	-1
詐 欺	8	13	-5	9	16	-7
横 領	1	-	1	1	-	1
文 書 偽 造	1	2	-1	1	2	-1
賭 博	3	-	3	36	-	36
わいせつ物頒布等	-	-	±0	-	-	±0
公務執行妨害	1	-	1	1	-	1
犯人蔵匿	-	-	±0	-	-	±0
証人威迫	-	-	±0	-	-	±0
逮捕監禁	-	-	±0	-	-	±0
信用毀損・威力業務妨害	-	-	±0	-	-	±0
器物損壊等	4	3	1	1	1	±0
暴力行為等処罰ニ関スル法律	-	-	±0	-	-	±0
そ の 他	5	8	-3	8	6	2

(3) 暴力団犯罪のうち、特別法犯の検挙状況を前年と比較すると、第37表のとおり、検挙件数は22件減少し、検挙人員は増減がなかった。

第37表 暴力団犯罪(特別法犯)違反法令別検挙件数・検挙人員

違反法令別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和7年	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数
総 数	27	49	-22	25	25	±0
モーターボート競走法	1	-	1	2	-	2
風 営 適 正 化 法	1	2	-1	1	2	-1
犯 罪 収 益 移 転 防 止 法	-	1	-1	-	1	-1
銃 刀 法	1	-	1	1	-	1
麻 薬 等 取 締 法	4	3	1	2	2	±0
大 麻 草 栽 培 規 制 法	-	6	-6	-	-	-
覚 醒 剤 取 締 法	15	31	-16	12	20	-8
医 薬 品 医 療 機 器 等 法	1	-	1	1	-	1
麻 薬 等 特 例 法	-	6	-6	-	-	-
食 品 衛 生 法	1	-	1	3	-	3
廃 棄 物 処 理 法	1	-	1	1	-	1
職 業 安 定 法	2	-	2	2	-	2

5 来日外国人犯罪の状況

- (1) 令和7年中における来日外国人による犯罪の検挙状況は、第38表のとおりであり、刑法犯、特別法犯を合わせた総検挙件数は551件、総検挙人員は168人で、前年と比較すると、検挙件数は268件(94.7%)増加し、検挙人員は5人(3.1%)増加した。

第38表 刑法犯包括罪種別・違反法令別来日外国人検挙状況

区 分		検挙件数				検挙人員			
		令和 7年	令和 6年	増 減		令和 7年	令和 6年	増 減	
				数	率			数	率
総 数		551	283	268	94.7	168	163	5	3.1
刑 法 犯	小 計	454	191	263	137.7	114	109	5	4.6
	凶 悪 犯	2	1	1	100.0	2	1	1	100.0
	粗 暴 犯	26	31	-5	-16.1	28	36	-8	-22.2
	窃 盗 犯	369	129	240	186.0	60	50	10	20.0
	知 能 犯	13	18	-5	-27.8	8	13	-5	-38.5
	風 俗 犯	3	-	3	-	3	1	2	200.0
	そ の 他	41	12	29	241.7	13	8	5	62.5
特 別 法 犯	小 計	97	92	5	5.4	54	54	±0	±0.0
	入 管 法	42	52	-10	-19.2	22	32	-10	-31.3
	軽 犯 罪 法	1	-	1	-	1	-	1	-
	風 営 適 正 化 法	-	1	-1	-100.0	-	-	-	-
	犯罪収益移転防止法	17	6	11	183.3	6	2	4	200.0
	銃 刀 法	1	-	1	-	1	-	1	-
	狩 猟 法	1	-	1	-	1	-	1	-
	麻 薬 等 取 締 法	16	1	15	1,500.0	9	-	9	-
	大麻草栽培規制法	-	10	-10	-100.0	-	2	-2	-100.0
	覚 醒 剤 取 締 法	8	18	-10	-55.6	7	14	-7	-50.0
	廃 棄 物 処 理 法	3	1	2	200.0	3	2	1	50.0
	狂 犬 病 予 防 法	2	-	2	-	-	-	-	-
	割 賦 販 売 法	1	-	1	-	-	-	-	-
	森 林 法	3	1	2	200.0	3	1	2	200.0
	旅 券 法	-	1	-1	-100.0	-	-	-	-
	四日市市廃棄物の減量 及び適正処理に関する条例	-	1	-1	-100.0	-	1	-1	-100.0
	三重県動物の愛護及び 管理に関する条例	1	-	1	-	-	-	-	-
	津市廃棄物の減量及び 処理等に関する条例	1	-	1	-	1	-	1	-

- (2) 過去10年間ににおける来日外国人による刑法犯の検挙状況は、第39表、第40表のとおり、検挙件数、検挙人員ともに増加と減少を繰り返している。

また、令和7年中の刑法犯の総数に対し、来日外国人の占める割合は、検挙件数では10.5%、検挙人員では4.8%となっている。

第39表 刑法犯来日外国人の検挙件数の推移

区 分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総 数	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591	3,421	2,953	3,810	3,626	4,322
来日外国人	114	150	92	146	160	124	73	407	191	454
構 成 比	2.5	2.6	1.9	3.8	4.5	3.6	2.5	10.7	5.3	10.5
凶 悪 犯	46	49	50	40	47	49	49	43	48	70
来日外国人	3	3	2	3	5	3	1	2	1	2
構 成 比	6.5	6.1	4.0	7.5	10.6	6.1	2.0	4.7	2.1	2.9
粗 暴 犯	360	371	396	393	360	404	390	543	661	531
来日外国人	6	11	16	18	15	14	15	29	31	26
構 成 比	1.7	3.0	4.0	4.6	4.2	3.5	3.8	5.3	4.7	4.9
窃 盗 犯	3,155	4,334	3,623	2,609	2,486	2,259	1,858	2,476	2,128	2,842
来日外国人	92	59	61	114	111	72	41	340	129	369
構 成 比	2.9	1.4	1.7	4.4	4.5	3.2	2.2	13.7	6.1	13.0
知 能 犯	551	440	518	432	299	291	320	302	252	289
来日外国人	7	63	1	3	12	11	3	8	18	13
構 成 比	1.3	14.3	0.2	0.7	4.0	3.8	0.9	2.6	7.1	4.5
風 俗 犯	76	54	52	59	55	54	55	77	145	186
来日外国人	1	2	1	2	3	5	1	4	-	3
構 成 比	1.3	3.7	1.9	3.4	5.5	9.3	1.8	5.2	-	1.6
そ の 他	369	469	325	296	344	364	281	369	392	404
来日外国人	5	12	11	6	14	19	12	24	12	41
構 成 比	1.4	2.6	3.4	2.0	4.1	5.2	4.3	6.5	3.1	10.1

第40表 刑法犯来日外国人の検挙人員の推移

区 分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総 数	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397	2,391
来日外国人	51	71	67	68	92	85	59	105	109	114
構 成 比	2.4	3.2	3.0	3.5	4.9	4.6	3.3	5.0	4.5	4.8
凶 悪 犯	37	37	35	45	51	40	46	44	53	69
来日外国人	3	3	2	2	10	4	1	3	1	2
構 成 比	8.1	8.1	5.7	4.4	19.6	10.0	2.2	6.8	1.9	2.9
粗 暴 犯	361	366	393	388	357	406	382	547	692	566
来日外国人	5	12	16	17	16	14	15	28	36	28
構 成 比	1.4	3.3	4.1	4.4	4.5	3.4	3.9	5.1	5.2	4.9
窃 盗 犯	1,334	1,364	1,228	1,115	1,059	1,010	950	1,085	1,143	1,157
来日外国人	36	41	39	43	43	49	32	53	50	60
構 成 比	2.7	3.0	3.2	3.9	4.1	4.9	3.4	4.9	4.4	5.2
知 能 犯	157	176	212	164	141	183	203	174	169	184
来日外国人	3	4	4	1	10	7	4	5	13	8
構 成 比	1.9	2.3	1.9	0.6	7.1	3.8	2.0	2.9	7.7	4.3
風 俗 犯	56	33	149	53	43	39	44	53	97	154
来日外国人	1	2	-	2.0	2	2	1	3	1	3
構 成 比	1.8	6.1	-	3.8	4.7	5.1	2.3	5.7	1.0	1.9
そ の 他	214	217	193	173	212	168	171	213	243	261
来日外国人	3	9	6	3	11	9	6	13	8	13
構 成 比	1.4	4.1	3.1	1.7	5.2	5.4	3.5	6.1	3.3	5.0